



AWSOME DAY

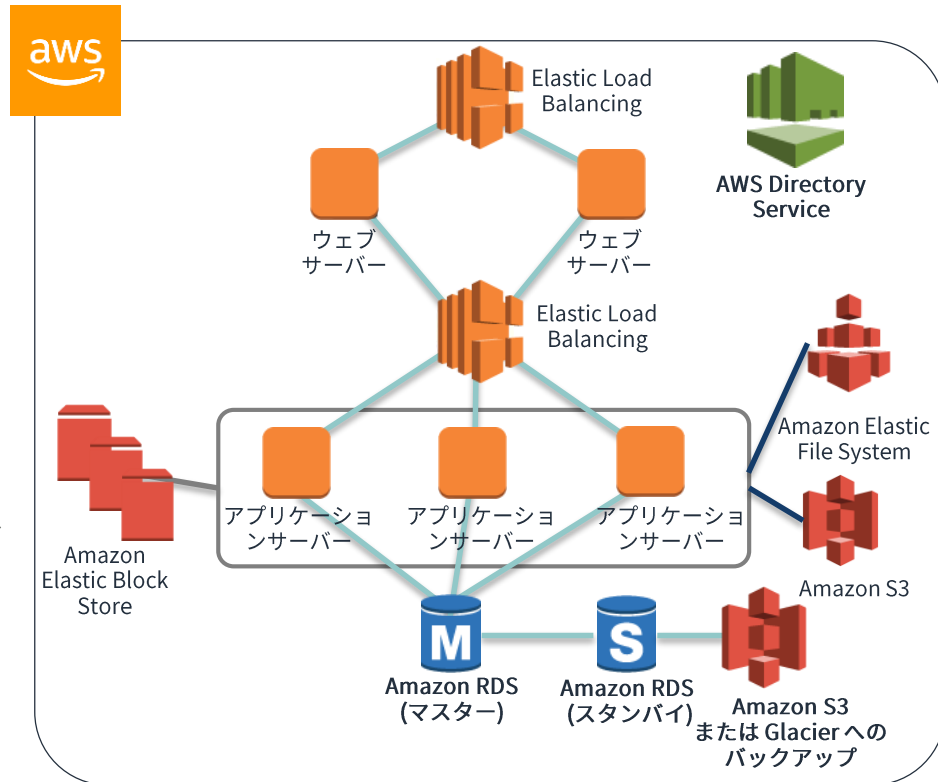
クロージング セッション

AWSトレーニングと認定のご案内

開発者の皆さん
インフラに対する苦手意識を
持っていませんか？

(再掲) AWS のメリットとは？

AWS ではオンプレミスと同等のインフラストラクチャをAPI の呼び出しで構築可能





効率的な学習

- ✓ 各コース1日~3日の集中トレーニング



エキスパートによる講義

- ✓ 経験豊富な講師がリード
- ✓ 質問にも随時対応

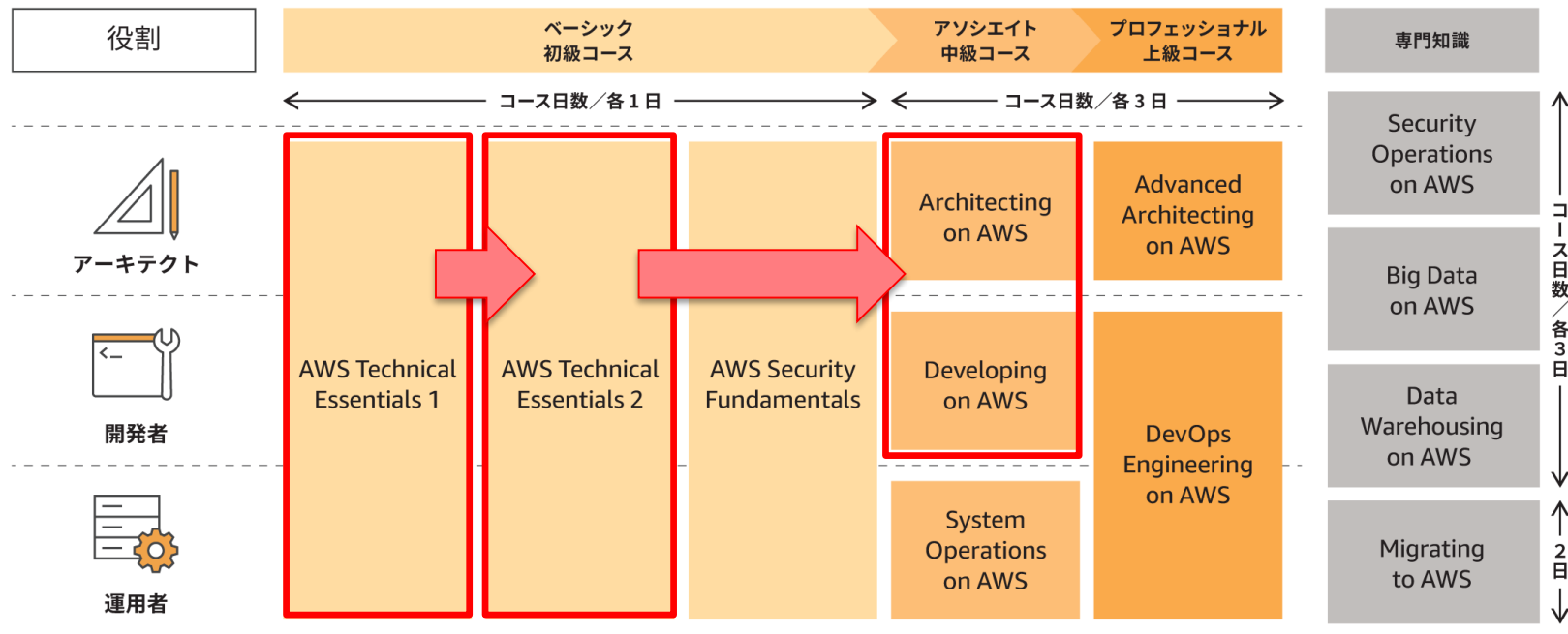


演習(ラボ)

- ✓ 構築・運用の実操作を演習で習得

<https://aws.amazon.com/training/>

AWSクラスルームトレーニング



各コース1日 70,000 円 (税抜)

 =開発者におすすめ
の学習パス

<https://aws.amazon.com/training/>

AWS Technical Essentials 1 & 2 (各1 日)

AWS 上でインフラストラクチャを自在に操ってみませんか？

AWS を利用して、オンプレミス同等のシステム構成を迅速かつ柔軟に構築できるようになります。インフラに苦手意識がある方もこれで安心！

Technical Essentials 1 (1日コース)

- 講義8割、演習2割の比率で、AWS の基礎知識、用語、オンプレ相当の基盤を構築できるインフラストラクチャ・サービスの特徴を集中的に学びます。

Technical Essentials 2 (1日コース)

- 講義2割、演習 8 割の比率で、シナリオベースの演習を通じてスケーラブルで可用性の高いWeb システムを構築するコースです。本番運用でも適用可能な知識が身に付きます。

(再掲) Technical Essentials 1 & 2 で学ぶサービス群

従来のインフラストラクチャ

アマゾンウェブサービス



ファイアウォール



ACL

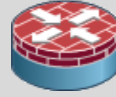


管理者

セキュリティ



セキュリティグループ



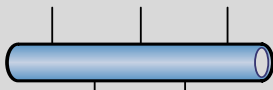
NACL



AWS IAM



ルーター



ネットワークパイプライン

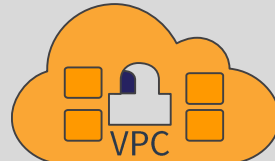


スイッチ

ネットワーキング



ELB



VPC



オンプレミスサーバー

サーバー



AMI



Amazon EC2 インスタンス



DAS



SAN



NAS



RDBMS

ストレージ データベース



Amazon
EBS



Amazon
EFS



Amazon
S3



Amazon
RDS

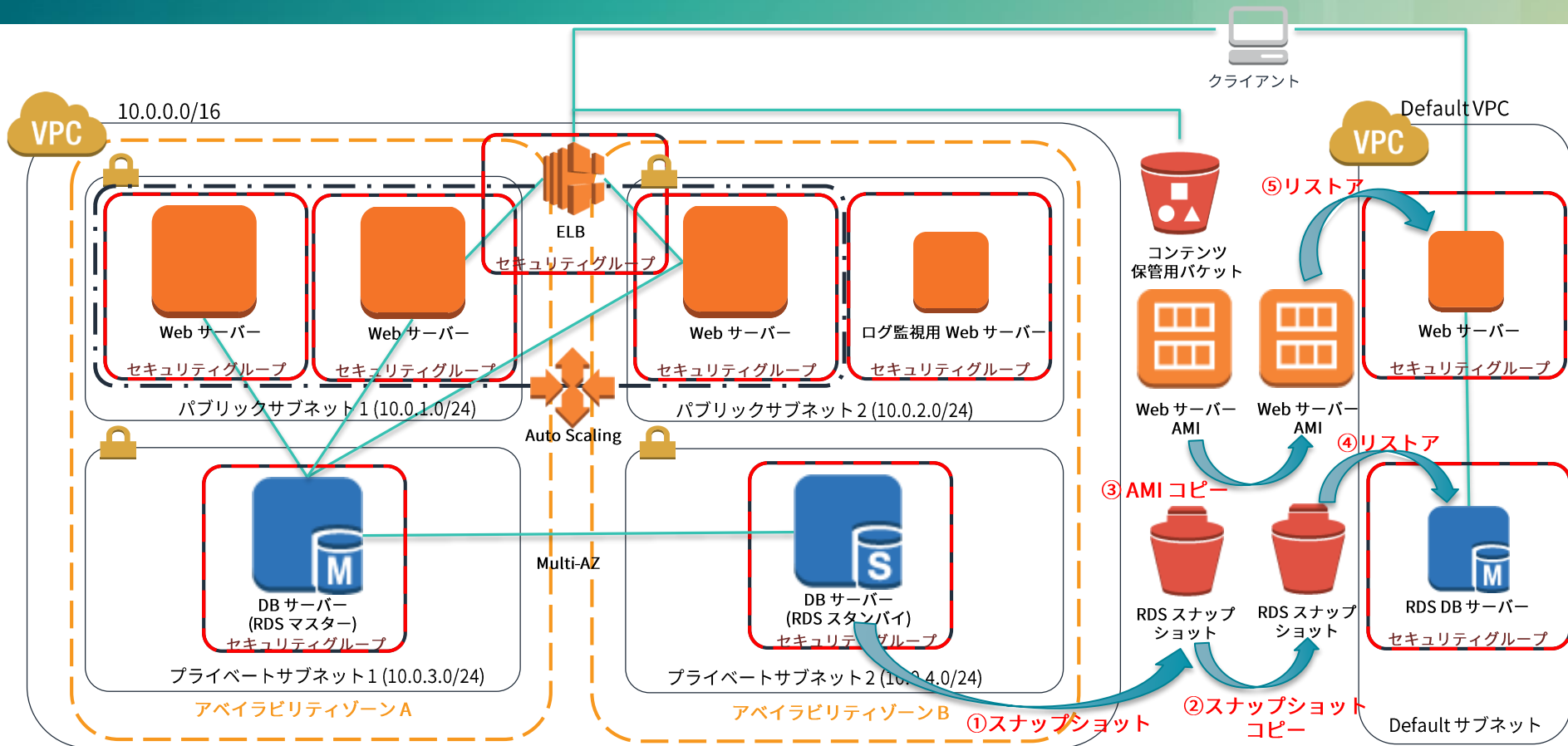
Technical Essentials 2 で作成するWeb システム

WordPress Blog



- ラボ1: Amazon EC2 とAmazon RDS で最小構成のブログサイトの構築
- ラボ 2: 高い可用性を持つブログサイトの構築
- ラボ 3: 性能の監視とログの収集
- ラボ 4: Amazon EC2 と Amazon RDS の拡張
- ラボ 5: Amazon EC2 にスケーラビリティを追加
- ラボ 6: バックアップ・リストア

Technical Essentials 2 で作成するWeb システム



Architecting on AWS / Developing on AWS (各3日)

**AWS アーキテクチャのベストプラクティスを身に着け、
実装できるようになろう！**

🟡 Architecting on AWS (3日コース)

- AWS アーキテクチャのベストプラクティスを学びクラウドに最適化されたシステムを設計する方法を学びます。実機演習や、グループディスカッションを通じて実践的な知識とスキルを身につけます。

🟡 Developing on AWS (3日コース)

- AWS 上のベストプラクティスに沿ったアーキテクチャを実際に実装するスキルを学びます。特に様々なマネージドサービスを利用した開発内容を広く学ぶことができます。

AWS 認定

AWS 認定とは AWS サービスに関する 知識とスキルを有していること を証明するもの

<https://aws.amazon.com/certification/>

aws CERTIFIED

役割別認定

専門知識認定

プロフェッショナル

✓ AWS認定
ソリューションアーキテクト
- プロフェッショナル

✓ AWS認定
DevOps エンジニア
- プロフェッショナル

✓ AWS認定
DevOps エンジニア
- プロフェッショナル



✓ AWS認定
高度なネットワーク
- 専門知識

アソシエイト

✓ AWS認定
ソリューションアーキテクト
- アソシエイト

✓ AWS認定
デベロッパー
- アソシエイト

✓ AWS認定
SysOpsアドミニストレータ
- アソシエイト



✓ AWS認定
ビッグデータ
- 専門知識

ベーシック

✓ AWS認定
クラウドプラクティショナー

✓ AWS認定
クラウドプラクティショナー
オプション

✓ AWS認定
クラウドプラクティショナー
オプション

✓ AWS認定
クラウドプラクティショナー
オプション



✓ AWS認定
セキュリティ
- 専門知識



クラウドプラクティショナー



アーキテクト




開発者



運用担当者

専門知識認定の受験には、クラウドプラクティショナーもしくは、アソシエイトレベルの認定が必要です。

 =開発者に
おすすめの認定

<https://aws.amazon.com/certification/>

クラウドプラクティショナー

2018年4月より日本語版試験開始

AWSの入門試験

- ✓ AWSのクラウドとは何か
- ✓ 主なサービスと一般的なユースケース
- ✓ セキュリティとコンプライアンスの基礎
- ✓ 請求、アカウントマネジメント、料金モデル 等



クラウドプラクティショナー
キャラクター「勇者みならい」

<https://aws.amazon.com/certification/>



エキスパートで あることの証明

- ✓ 技術的スキルと専門知識を証明
- ✓ キャリアアップへの一助に



人材の見極め

- ✓ AWSのクラウド知識保有者の採用に



特典

- ✓ 認定ラウンジの利用
- ✓ 無料の模擬試験
- ✓ デジタルバッジ & ロゴの使用

<https://aws.amazon.com/certification/>

個人としてのメリット

- AWS プラットフォームで動く、可用性とコスト効率が高く安全なアプリケーションを設計、デプロイ、および管理できるだけの専門知識があることの証明になる
- AWS に関する技能と知識の水準を客観的に認めてもらえる
- 雇用主や同僚からの信頼が増す
- 署名や履歴書で認定ロゴを使用できる
- 証明書を取得できる

雇用主としてのメリット

- AWS でワークロードを設計、デプロイ、運用できるだけのスキルを持つ IT プロフェッショナルを見極められる
- AWS プラットフォームにワークロードやプロジェクトを実装するリスクとコストを削減できる
- 顧客の満足度を高められる



AWS 認定取得に向けて

AWS 認定の取得に必要な最新の試験体系と、その受験方法および受験に必要な各種準備リソースの紹介をいたします。

※本セミナーはテクニカルな内容は含みません。

「AWS クラウドサービス活用資料集」 ページにて公開

<https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/>

AWSトレーニング・認定に関するお問合せ先

<https://aws.amazon.com/jp/contact-us/aws-training/>

 メニュー



日本語 ▾ アカウント ▾ [アカウント作成を完了する](#)

お問い合わせ

[AWS トレーニングおよび認定チーム](#) >

関連リンク

[AWS トレーニング](#)

[AWS トレーニングに関するよくある質問](#)

[AWS 認定のよくある質問](#)

[APN パートナー? お問い合わせ](#)

[フォーラム](#)

AWS トレーニングおよび認定チーム

質問または出張講習のリクエストのため、AWS トレーニングと認定にご連絡いただく場合は、このフォームをご利用ください。

トレーニングと認定についてのよくある質問では、一般的な質問が幅広く扱われています。トレーニングに関するよくある質問 ([こちら](#)) と認定に関するよくある質問 ([こちら](#)) を確認してください。APN パートナーの場合、[APN ポータル](#)にログインしてプロフィールを更新するか、パートナートレーニングについての質問を APN チームにお寄せください。

ご送信いただいてから 1~2 営業日以内に返信いたします。

アスタリスク (*) は入力必須の項目を示しています。

Thank you